

布施商店街の活性化

～行ったプロジェクト～

- 1. 布施商店街の夜市への参加
- 2. 「布施って意外と…」の追加店舗の開拓

目的：商店街の良さを伝え、活性化を促すこと 「布施って意外と…」に新しい店舗を追加する
 結果：空き店舗を減らすことはできなかった 新しい店舗にインタビューすることができた

～来年度に向けて～

- 1. ラグビーワールドカップに向けて、イベントを考え、実行する
- 2. 「布施って意外と…」の広告方法を考え直す



若者の魚離れについて

～行ったプロジェクト～

若者の魚離れのアンケート調査

目的：年代別に分けて御厨祭でのアンケート調査
 結果：やはり若者の魚離れは、解消はできなかった

～来年度に向けて～

- 1：東部卸売市場で行われる祭りに参加し、試作した
フィッシュバーガーを販売する。
- 2：少しでも若者の魚離れをどうやって、
抑制できるようにするのかを考える。
- 3：アンケートの結果を市場の方たちに伝えることが、
出来るように詳しく分析をして、
私たちが若者の魚離れを少なくすることを研究する。

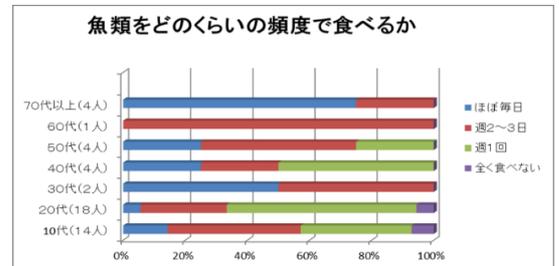
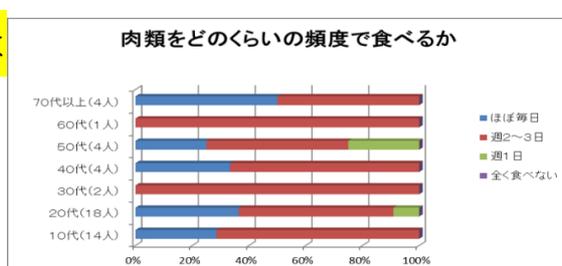


御厨祭でのイカ焼きの販売、アンケートも実施



フィッシュバーガーの試作品、結構美味しい!

魚離れの原因は肉!?



加藤ゼミナール

目的

・小阪商店街の活性化

そのために私たちは、3つの方面からアプローチするために、班を作りました。

・イベント班 ・情報発信班 ・空き店舗班

イベント班

商店街を盛り上げるためにイベントを考え実施する班。

今年はサンサン祭でお店を出したり、子ども達と新校舎リアクトの体育館を使用し冬のプチ運動会を開催した。



情報発信班

小阪の商店街を賑やかにするために、小坂の商店街の情報を SNS やチラシを利用し宣伝している班です。

主に、小阪の隠れた魅力や、街の人たちの熱い思いなどを発信しています。



空き店舗班

シャッター商店街の現状をの改善を試みる班。

今年は、小阪商店街の空き店舗を活用して、小阪小学校と八戸ノ里小学校の生徒たちを対象に、職業体験型駄菓子屋を実施しました。



まとめ

自分たちで情報を集め、外部へ発信したり、何かを企画したり、外部の人にコンタクトを取るということは大変なことであり、長い時間をかけて取り組まないといい結果を残せないということを学んだ。